



城だより

第681号

日本古城友の会・会報

令和7年(2025)9月7日発行

丹波 須知城と上野城(北曲輪群・南曲輪群)を訪ねる(10月・第744回例会)

日時: 令和7年10月5日(日) 貸切バス 雨天決行(行程変更あり)

集合: 8時00分 JR環状線「森ノ宮駅」西側 森之宮神社前 時刻厳守

行程: 森ノ宮駅前⇒名神高速・京都縦貫道⇒丹波 IC⇒琴滝駐車場⇒須知城東曲輪群
⇒須知城西曲輪群(昼食休憩)⇒明石口下山⇒琴滝駐車場⇒バス⇒上野城南曲輪群
⇒バス⇒上野城北曲輪群⇒京都縦貫道・名神高速⇒森ノ宮駅前(17:30頃を予定)

※雨天の場合は見学先を「福知山城」に変更します。その場合森ノ宮駅前帰着は18:30頃の予定。

※帰路は高速道路の渋滞が予想される為、森ノ宮駅前到着が予定より遅くなる場合があります。

担当幹事: 岸本征剛・下岡 力

持ち物: 弁当(事前に用意してください)・飲物・敷物・帽子・ハイキング靴・手袋(軍手)・
ステッキ・タオル・雨具を必ず持参してください。バス車内を含めマスク着用は各自
の判断をお願いします。

※須知城からの下山でロープで降りるところがあります。必ず手袋(軍手)を用意し
てください。

参加費: 25人	5,300円	24人	5,500円	23人	5,700円
22人	6,000円	21人	6,300円	20人	6,600円
19人	7,000円	18人	7,300円	17人	7,600円
16人	7,900円	15人	8,300円		

(バス代・高速料金・資料代・保険代・記念写真代・下見費用として)

※参加の方は郵便振替口座 00960-9-13784 加入者名 平川大輔 通信欄に「10月例会
申込」と記載し、申込金3,000円を振り込んでください。(手数料自己負担)

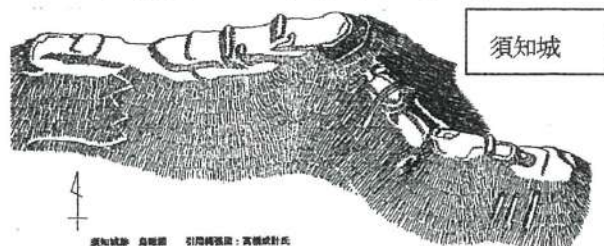
10月4日以降の参加キャンセルにつきましては、申込金の返金を致しかねますので御了
承ください。

問合せ: 下岡 力

(開催は新型コロナ感染状況によります。必ずホームページを確認の上ご参加ください。)

【今回の見どころ】

須知城・上野城とも須智氏の居城と考えられている。須智氏はその出自は定かでなく、一説には遠江
国周知郷の出身で平安末期に丹波の船井郡に移住
したとされるが、一次史料では確認できない。しか
し、天正7年(1579)に明智光秀に滅ぼされるまで
の間、中世を通じて丹波国船井郡を中心に国人領主として一定の勢力を誇っていた。



(作図: 川端義憲氏)

発表に先立ち参加者に現在の茨城県と市町村図と同県の地形図、戦国時代の勢力図が記載された資料が配付されました。県南部は平地が広がる一方、北部は山岳地帯で関西人には意外に感じさせます。常陸と言えば佐竹氏のイメージが強いですが、平安時代に入った平国香の後裔とされる大掾氏、鎌倉時代の八田知家から始まる小田氏や、水戸を拠点とした江戸氏など、多くの勢力が割拠していたこと、また佐竹氏の勢力は北部で南部平野部の肥沃な地帯は押さえていなかったことがよくわかりました。

今回の発表で取りあげられたのは、①松岡城（龍子山城）、②櫛形城、③山尾城、④太田城、⑤馬坂城、⑥前小屋城、⑦南酒出城、⑧額田城、⑨石神城、⑩府中城、⑪小田城、⑫水戸城、⑬小幡城、⑭島崎城の14城でした。各城それぞれについての解説は省略させていただきます。（詳細はお城の旅日記 <http://www.oshiro-tabi-nikki.com/> の茨城県のページをご覧ください。）全体的には関東ローム層の土を利用していることと、丘陵地帯の先端部を利用するような自然地形を活用していることが印象に残りました。現在は学校になっていて立ち入りにくかったり、地元の方に案内されたのちに、写真が撮れなかったためもう一度回ったりと、実際に訪れたからこそそのエピソードも興味深く感じました。また有名な佐竹氏の居城太田城は遺構がほとんど残っていないようで、残念に感じました。最後に取りあげられたのは島崎城でしたが、自然地形を利用した曲輪や堀・土塁が残っており見どころ満載という感じでした。

ほとんどの参加者が関西からですので、なじみのない城が多かったと思いますが、熱心にスライド1枚1枚を写真に収める姿も見受けられました。ご参加いただいた皆様、講演いただいた平川副会長と中西会長に深く御礼申し上げます。

報告 藤岡秀典

【事務局報告】

講演会週終了後、臨時運営委員会を開催し、持ち越し案件となっている60周年記念誌の活用方法についての意見交換と、下岡編集部長からの今後の会報『城だより』発刊についての審議事項が提示され、次回11月の運営委員会で再度確認することで一致し、解散となった。

日本古城友の会

会 長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HPアドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力

取りあげられた城のおおよその位置

